

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	池田市宮石橋住宅建替建設工事	階数	地上5F
建設地	大阪府池田市石橋4丁目	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	128 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年5月8日
敷地面積	2,430 m ²	作成者	戸川 慎也
建築面積	611 m ²	確認日	2018年5月8日
延床面積	2,494 m ²	確認者	戸川 慎也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 本計画は建物の省エネ性能に対する配慮、および維持管理、更新に関する配慮に重点を置いて計画を行った。		その他
Q1 室内環境 光・視環境において、昼光率を2.1%以上確保した。	Q2 サービス性能 大阪府福祉のまちづくり条例に適合した建築である。居室天井高さ 2.5mとしている。階高は2.9mとしている。汚水排水管 雑排水管 VPを使用した。	Q3 室外環境(敷地内) イメージベース等にて、全体の街並みへの調和や良好な景観形成等の検討を行った。
LR1 エネルギー BEI BEImについて、0.75 を実現した。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 十分な駐輪台数・駐車台数を確保し、周辺地域への交通負荷軽減を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0016

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	池田市営石橋住宅建替建設工事					
	建設地	池田市石橋4丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.5	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		